



佐藤照彦 議員

保健福祉

貧困減らす目標の策定

具体的な計画は困難

質問 保健福祉行政を問う。

① 本町の貧困の実態を把握しているか。「生活保護の捕捉率」(生活保護基準以下で暮らす人たちのうち、どれだけ保護を受けているか)の調査をしたことがあるか。もしなければ調査を行い、貧困を減らす具体的な目標や計画を策定すべきでは。

② 「生活に困窮する国民健康保険の被保険者に対する対応について」という厚生労働省の通知が発せられた。この通知は、一部負担金減免などの活用を訴えていることから、

これらの活用を広げるべきでは。

沼崎町長

① 生活保護の捕捉率調査をしたことがないので、貧困の実態は把握していない。貧困にかかわる実態調査の実施や貧困を減らす具体的な計画、目標の策定は困難である。

② 被保険者が保健医療機関などで支払う一部負担金の減免については、現在、基準を設けていない。

今後、減免要綱制定に向けて、国のモデル事業などの動向を見極めていきたい。

地域医療

「地域住民の理解と協力」必要

山田病院と地域医療を守る会と連携

質問 山田病院と地域医療を守ることは、当面する町政の最大課題である。

「医師確保」「地域住民の理解と協力」「行政の新たな対応」をつくり上げなければならぬ。町の対策は、

「医師確保」「地域住民の理解と協力」「行政の新たな対応」をつくり上げなければならぬ。町の対策は、

町の考えを聞く



地域医療講演会の様子
(9月4日：中央公民館小ホール)

沼崎町長 「医師の確保」については、関係機関への要望を継続するとともに、県立山田病院、議会および町民と連携して、医師確保などを研究し、実施していきたい。

「地域住民の理解と協力」については、内科医師が不在なこと、現状では医師の確保が難しいことなどについて、山田病院と地域医療を守る会と連携して、地域医療講演会を開催したり、地域に向いて説明するなど、理解と協力を呼びかけたい。

「行政の新たな対応」については、インターネットの活用や町からの訪問説明、現地訪問医師への旅費の支給などを制度化する予定である。